



代表質問

知事の政治姿勢

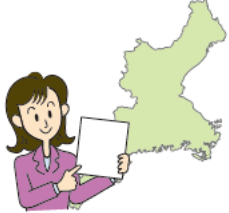
舟橋 裕幸 議員
(新政みえ/津市選出)

(新政みえ/津市選出)



問 知事は、「日本一、幸福が実感できる三重」を目指すといいますが、人それぞれの「幸せのかたち」は異なります。目的を達成するための方策を具体的な内容でご説明ください。また、その経過や結果を示すための指標をどのように設定するのかについても伺います。

また、従来から県行政の各分野における満足度を調査するために実施されて



きた「一万人アンケート」との整合性についてはどのようにお考えですか。

答 三重県が、日本経済をリードすること、成熟社会における「新しい豊かさ」のモデルを示すことの二つの役割を果たすことで、日本一幸福が実感できる三重を目指します。新しい県政ビジョンを策定する中では、施策に設けた数値目標の達成度合いを測ることで成果を示していきたいと考えますが、数値目標の指標については、一万人アンケートの在り方も含め、今後検討していきます。その他の質問事項
○財政運営 ほか

防災(地震津波)対策

前野 和美 議員
(自民みらい/津市選出)



問 未曾有の広域災害と被災地の震災対策については、さまざまな課題が指摘されていますが、三重県でも東海・南海・南海地震の発生が想定されており、一刻も早い地震への対応が必要です。知事は、宮城県に赴き現地の

被災状況や震災対策、避難現場の様子を確認されてきたと聞いています。現地での情報やそれに対する対策など、知事の感想と思いをお聞かせください。

答 現地の状況は想像を絶するものであり、国を挙げての被災地支援の必要性を痛感するとともに、三重県においても、津波被害を受けた水産業支援や地震・津波対策の見直し、県全体の災害対応力強化を行い、災害に強い地域づくりを一層進めるとを決意しました。今後は、「緊急地震対策行動計画」を9月までに策定するなど、県内での津波避難体制の整備を進めていきます。その他の質問事項
○知事の政治姿勢 ほか



一般質問

障がい者の雇用対策

吉川 新議員
(新政みえ/度会郡選出)



問 三重県庁における知的障がい者の雇用は、平成22年度末現在で132人の障がい者雇用のうち、わずかに2名です。受け入れ側が、障がい者との職場環境づくりに不慣れなことが要因だと思えますが、正しくコミュニケーションを取ることで、大きな人的資源となり、福祉コストの軽減にもつながります。知的障がい者雇用を積極的に進めるべきではないでしょうか。



答 県では、職員の知的障がい者に対する理解の促進を図るため、平成16年度から知的障がい者の職場実習に取り組んでおり、その取り組みを踏まえ、平成23年4月までに採用した3人のうち2人は正規職員として任用しています。今後とも職場実習などを通じ理解の促進を図り、計画的な採用に努めていきたいと考えます。その他の質問事項
○エネルギー対策 ほか